

おうらまち

# 議会だより



中野小学校運動会

平成24年 9月定例会

平成23年度決算認定（一般会計・各特別会計）  
平成24年度補正予算可決（一般会計・各特別会計）  
一般質問 【9人の議員が町の考えを問う】

田部井健二議員、原 義裕議員、松村 潤議員、本間恵治議員  
塩井早苗議員、岩崎律夫議員、大野貞夫議員、小島幸典議員  
小沢泰治議員

- 可決された議案…………… 3～4
- 決算質疑…………… 4
- 一般質問…………… 4～13
- わたしのふるさと等…………… 13～14

No133

# 平成23年度の決算を認定

一般会計歳入総額 89億6,790万円

歳出総額 84億6,202万円

町税収入 37億8,446万円 (歳入総額の42.2%)



幼稚園・小中学校エアコン整備事業

## 9月定例会

9月定例会では、平成23年度の一般会計決算をはじめ、各特別会計の決算が提出されました。常任委員会において審査を行い18日の本会議で各会計ともそれぞれ認定されました。

平成23年度の一般会計決算額は、前年度と比較して歳入が、6億7044万円の増となりました。地方交付税、町債が減少した一方、繰入金、国庫支出金は大幅な増となりました。町債の減は、臨時財政対策債が9990万円減少したことによりです。繰入金の増は、公共施設等整備基金の繰入れ3億7925万円、国庫支出金の増は、子ども手当負担金3億9414万円があったことによりです。

滞納は住民の税負担の不公平感につながる、極めて重大な問題です。平成23年度においては、昨年度に引き続き、電話催告や収納のための特別窓口の開設など、さまざまな努力が行われました。徴収率の向上に向け、なお一層取り組みを強められるよう要望いたします。

歳出においては、予算現額89億3033万円に対し、決算額は84億6202万円、執行率は94・8%となっておりです。

町税収入は、37億8446万円であり、歳入総額に占める構成比は、42・2%となりました。なお、町税については、1436万円の不納欠損処理が行われ、収入未済額も3億8000万円余りに達しています。税は貴重な収入源であり、

歳出総額は、昨年度と比較して9億2213万円の増であり、主な要因は国営総合農地防災事業渡良瀬川中央地区事業費負担金7615万円など農林水産業費の増、幼稚園・小学校・中学校のエアコン整備2億716万円や学校給食事業特

別会計繰出金2億5706万円など教育費の増等です。

平成23年度の財政状況については堅実な財政運営に努力され、実質単年度収支は4年連続で黒字となりました。義務的経費のうち、人件費と公債費は着実に減少を続けています。しかし、景気回復の遅れから、今後町税等の落ち込みの回復には相当の期間を要すると見られ、その一方、少子高齢化の進展により、扶助費等の財政需要が増大していくことは明らかです。引き続き、各事業運営の効率化をより一層推進されるよう要望します。

限られた予算の中では、老朽化が進む公共施設等の維持更新、区画整理事業等の長期にわたる事業については、重要度や緊急性を考慮しながら、年次的・計画的に整備や見直しを進めていくことが大切です。中長期的な見通しに基づき、庁内外の合意形成に向けた取り組みを進めていかれるよう要望します。

(決算審査意見書抜粋)

■平成23年度決算額

会計別	歳入総額	歳出総額	差引額
一般会計	89億6,790万1,452円	84億6,201万7,457円	5億0,588万3,995円
国民健康保険特別会計	31億6,002万1,219円	29億8,067万2,575円	1億7,934万8,644円
後期高齢者医療特別会計	1億8,344万3,332円	1億7,990万3,208円	354万0,124円
介護保険特別会計	15億5,980万3,371円	15億5,867万8,498円	112万4,873円
下水道事業特別会計	3億6,655万7,341円	3億3,662万4,771円	2,993万2,570円
学校給食事業特別会計	6億7,654万4,480円	6億7,640万8,863円	13万5,617円
水道事業会計	5億0,008万2,476円	4億8,586万0,357円	1,422万2,119円 (当年度純利益)

# 可決された議案

【条例改正等】

**邑楽町条例の左横書き等の整備に伴う特別措置に関する条例**

条例等を横書き文書に統一し、事務の効率化及び利便性の向上を図るため条例を定めました。

**邑楽町防災会議条例及び邑楽町災害対策本部条例の改正**

災害対策基本法の改正により、邑楽町防災会議の役割に、多様な意見を反映できるように、委員に自主防災組織の構成員を加えました。また、同法の改正に伴い、邑楽町災害対策本部条例の根拠条文を改正しました。

■**邑楽町暴力団排除条例**

暴力団による不当な行為の防止、及び町民生活や町内の事業活動に生じる不当な影響を排除するため条例を定めました。

■**邑楽町中小企業振興資金融資促進条例の改正**

町内中小企業を支援し、より利用しやすい融資制度とするため、運転資金について、貸付期間を1年延長し、据置期間6カ月を設定するなどの改正をしました。

■**町道の路線認定及び廃止**

民間開発等に伴う町道路線の認定及び鶉土地区画整理事業による廃止をしました。

【報告】

■**平成23年度健全化判断比率及び資金不足比率**

地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づき健全化判断比率等が報告されました。

【人事案件】

■**教育委員の任命**

平成24年9月30日で任期満了となる教育委員について、黒澤幸男さん(狸塚)と田部井善雄さん(藤川)を再任することに同意しま

した。

■**固定資産評価審査委員の選任**

固定資産評価審査委員に、藤田良一さん(石打)を選任することに同意しました。

【契約の締結】

■**邑楽町防災行政無線システム整備事業**

契約金額(消費税込) 6489万円  
契約の相手方 太田市新道町  
利根電波システム株式会社

■**邑楽町民体育館耐震補強・改修等工事**

契約金額(消費税込) 1億4437万5000円  
契約の相手方 太田市東本町  
石橋建設工業株式会社

■**邑楽町武道館耐震改修等工事**

契約金額(消費税込) 6247万5000円  
契約の相手方 太田市浜町  
石川建設株式会社

■平成24年度補正予算額

会 計 別	予算現額	補 正 額	予算総額
一 般 会 計	76億2,200万円	5億5,631万円	81億7,831万円
国民健康保険特別会計	28億6,980万円	5,050万円	29億2,030万円
後期高齢者医療特別会計	2億1,124万円	354万円	2億1,478万円
介護保険特別会計	16億4,989万円	1,228万円	16億6,217万円
下水道事業特別会計	2億9,573万円	886万円	3億0,459万円
学校給食事業特別会計	2億7,470万円	△525万円	2億6,945万円

決算質疑

Q&A

決算の主な質疑（要旨）  
 一般会計、各特別会計の決算にあたり、行政効果などについて質疑が行われました。

Q 神谷長平議員 行政

財産使用料が23年度は「175万円」ほどある。その理由は。

A 総務課長 東京電力と

NTTの電柱、NTTドコモのアンテナ、民間に駐車場として貸した土地の使用料である。

Q 本間恵治議員 明野と

新中野の終末処理場の費用を独立採算性ある運営にするため、公平な是正を。

A 町長 老朽化した配管

を改修し、地元住民の理解を得るための説明会を行い、料金改定に努める。



新中野下水処理場

一般質問

一般質問は、9月10日及び11日に行われました。質問には、9人の議員が登壇し、町の行政事務などについて執行部の考えをただし、活発な議論が行われました。

教育行政について

田部井健二議員

邑楽町には中学校が2校、小学校が4校ある。学校に係るいじめの問題、どのような問題があるのか。また、どのような対応をとっているのか。

教育長 邑楽町でもいじめ

はある。今年度に入ってからでも、4月から8月までで「いじめられた」とアンケートに答えた子は小・中学校で13人いた。結果について、県にもきちんとして出している。対応については、校長会議の時に、必ずいじめの事を議題にし、先

生方と校長先生と一緒に対策を話し合い、子どもが安心して先生と信頼関係を築いていけるようにと思う。

田部井健二議員 事の深刻さを抜きにすれば、大なり小なり、必ずいじめという問題は学校の中で発生していると思う。今、答弁の中で、先生との信頼関係を築くのが大事とあったが、私も一番大切な事だと思う。具体的に信頼関係を築くのに必要なことは。

教育長 やはり子どもの心



中学校での部活動

をしつかりと受け止める、そういう先生の心が大事である。いつも子どもと関わって話をする、そういう事も子どもと先生をつなぐ大きな架け橋になる。

**田部井健二議員** 子どもと接する時間を長く持つという事が、一番大事だと思う。

子どもを見つめる時間を長くし、子どもと話をする時間をより多く取る。こういう事に重点を置いて、先生方には接してもらいたい。それがいじめ問題の根を深くしないで、早期に解決する近道だと思う。一人でも多く良い先生を町に配置してもらいたい。全ての保護

者の願いでもある。教育長から見て、良い先生とはいかような先生か。  
**教育長** 良い先生とは、3つだけあげれば、人間力・教師力・授業力を備えた人だと思う。

**田部井健二議員** 私なりに考えれば、子どもの成長を近くで見、その成長する姿を自分の生きがいとし、自分の喜びに変えられる先生、こういう先生が良い先生だと思う。学校であるから、まず勉強が第一であり、これが王道である。しかし、それ以外に学校では、共同生活を学んだり、部活動に打ち込んだりと色々な事がある。中学校には、もう少し部活動に熱意を持った先生を一人でも多く配置をしていただきたい。

**人事は重い仕事**

**教育長** 教師の人事は、教育長の一番重い仕事と思う。相手のあることなので、

本場に多くのエネルギーを使う。議員が言うとおり、中学校時代は特に部活動も人間形成で大変大事な部分である。結果として、今年度の人事では、得意でない人が部活動の担当になってしまった。反省の上に立つ

て、来年度は部活動の顧問について早く情報を集め、指導が可能な先生を配置できるように配慮をしていきたい。  
その他の一般質問  
・公共施設整備について

**中央公園の整備及び管理利用について**

**原 義裕議員** 中央公園と孫兵衛川は、県のふるさと川の整備事業によつて整備され、町の中、心として行政・文化・レクリエーションなどの機能を備えた町の核となる計画地域だ。総合計画の中での、考え方を聞かせて欲しい。

川整備事業により、河川と調整池と一体となった公園で、平成15年に完成している。園内では、ウォーキングも楽しむ事ができ、町の新顔として整備をしてきた。

**町長** 国の指定を受けた事業で、やすらぎのある河川改修をしようと始まった事業だ。多くの町民に利用されておき、大事にしていきたい。

**原 義裕議員** 総合計画に基づき、県と共に整備した公園である。多くの町民が利用している。水を楽しみ、緑を楽しみ、今の状況ではいかがなものか。  
**都市建設課長** 完成から8年が経ち、指摘のとおり、上池や下池には、ハスやヨシが繁茂している。渇水時には、人力の及ぶ範囲で除

**原 義裕議員** 現在の状況について聞きたい。  
**都市建設課長** ふるさとの

去はしている。

**原 義裕議員** 全国的には、ゲリラ豪雨とかで災害があり、孫兵衛川のヨシの繁茂状況は、ゲリラ豪雨が来たら、即氾濫。調整池もハスやヨシがはびこって、役に立つか疑問である。

**町長** 確かに河川の中は、大変繁茂して心配である。管轄は、館林土木事務所であるが、十分協議し、浚渫も考え、災害が起きないように努力する。

**原 義裕議員** 土木事務所の管轄との事であるが、町民は、町が管理運営しているように見ている。早急に整備除去して欲しい。

**町長** 指摘の点は十分理解できた。早急に対応する。

**原 義裕議員** 群馬工業高等専門学校教授が、ハスやヨシが茂った池や河川からの除去について、水を除いてからの浚渫方法ではなく、水のある状態で浚渫作業ができる機械を開発した。館林土木事務所も、教



やすらぎの池（中央公園内）のハス

授に依頼し、城沼の浚渫を行っている。

**町長** 館林土木事務所には、担当課長や私からも予算化をお願いし、整備を依頼する。

**原 義裕議員** 台風やゲリラ豪雨等を考えた時、新中野や明野への被害を考える

と、早期の処置が必要だ。

**町長** 調整池が機能を果たさなければ、以前あった新中野地区の越水被害の繰り返しになる。災害が起きる前に対応したい。

**原 義裕議員** 町の顔でもある中央公園を、今後どの様に考えているか、聞かせ



## 豊かな故郷

昭和63年9月邑楽町に念願のマイホームを構え、早24年になります。その年に生まれ、まだ家具も揃わない広々とした床を長男の後を追いついて、モップのように這い回っていた長女が結婚相手を連れてくる歳となり、豊かな邑楽町での我家の歴史を感じる今日この頃です。

近所の方にとっても親しくしていただき、毎週のように各家庭に集まり、ワイワイと賑やかに交流させていただきました。お互いの家を我が家のように行き来していた子ども達も、伴侶を迎えるような年代となりましたが、相変わらず充実した近所付き合いをしていたいております。

歩いて10分たらずの所に、白鳥が飛来する豊かな多々良沼の自然にも恵まれ、静かで本当に理想的な住居環境と満足しています。

いつまでも変わらず、子ども達が豊かな自然に触れられるこの故郷を大切にしていきたいと思っております。

## 休憩室

REST ROOM



夏目 正  
(明野・34区)

て欲しい。

多くの皆さんに  
親しまれる公園に

**町長** この公園は、町の財産で公共施設等が集約されている。県の事業とあわせ、多くの皆さんに親しまれ、利用される公園にしたい。

## 節電対策について

**松村 潤議員** 企業や自治体など大口向けに電力を販売する特定規模電気事業者（PPS）は、平成12年、電気事業法改正に伴い、電力の小売事業の自由化が認められた。最初は特定高圧電力で契約電力毎時2000

林市、足利市がPPSと契約したので、状況を調査している。

詰以上が対象であった。平成16年には高圧電力で契約電力が毎時5000

**松村 潤議員** 町の公共施設でPPSの対象となる施設はどのくらいあるのか。また、その施設の電気料金はいくらか聞きたい。

として平成17年には同じく毎時5000と規模が引き下げられた。この電力の小売自由化は、電気料金の引き下げが期待されているが、町はどのような認識を持っているか。

**総務課長** 平成23年度全体の電気料金は、9484万円。このうちPPSから電力供給を受けることが可能な毎時5000以上の施設は21施設で、平成23年度の電気料金は6068万円である。

**総務課長** PPSについては、具体的な検討は行っていない。近隣の太田市、館

**松村 潤議員** 町の21施設の電気料金は、6000万円以上ということであるがこれをPPSに替えれば、現在の電気料金の1割ないし2割は安くなる。600万円以上削減できると思うが、試算を出していただきたい。館林市は市庁舎、小中学校、公民館など32施設をPPSから電力を購入。東京電力に比べて年間750万円を節約している。太田市では年間2500万円、桐生市でも年間350万円位の節約につながるかと試算している。このように、東京電力からPPSに切り替えることによって、間違いなく電気料金の削減につながる。しかもPPS導入については初期費用が全くかからない。いわゆるゼロ予算事業であり、これまた大きなメリットである。最少の経費で最大の効果を上げることが行政の基本であるならば、一日でも早くPPSへ切り替えるべきであるが、町長の考えを聞きたい。

PPS導入を  
前向きに

## 邑楽町大好き



30年以上住んで思うことがあります。それは、芯の強い方、そして、働き者の方が多くという印象を受けます。私は、大好きな邑楽町のために、少しでもお手伝いできることがあれば、やらせて頂きたいと考えています。

結婚して、数カ月間は、太田市に住んでいましたが、その後、邑楽町に住んで31年になります。生まれ育った隣の大泉町よりも、邑楽町に住んでいる年数のほうが長くなってしまうました。

私がまだ独身の時ですが、中学時代の友人が結婚して、邑楽町に住んでいたことがありました。当時、その友達の家にお邪魔したことを懐かしく思います。でも、まさか自分もその邑楽町に住むことになるなんてことは、一度も考えたことはありませんでした。

## 休憩室

REST ROOM



桑子 典子  
(前原・4区)

**町長** 毎時50詰以上の高圧の受電施設は21施設であるが、やはり節電というのは求めていかなければならないと認識している。PPSから受電を行うことでメリットがあるということについては、他の市町で現実

に行われている。したがって、今後は町内の各公共施設については、このPPS導入を前向きに考え、十分検討する。

**その他の一般質問**  
・いじめ問題について

## 邑楽町福祉センターの 目的外使用について

**本問恵治議員** 邑楽町福祉センターの設置及び管理に関する条例第3条の事業と

いうところに、「高齢者の健康の増進及びレクリエーション等に関すること」、「高齢者の教養講座等に関すること」、「高齢者の生活、健康等の相談に関すること」とあり、最後に4番目として、「その他町長が必要と認める事業」とある。

**町長** 私の後援会が利用することについて、長としての判断がどうなのかということだが、以前から町政報告会や国の報告会等々、使っていたいた経緯もある。過去の経緯等も踏まえ、許可をし、利用していただいているのが現状である。

**本問恵治議員** 町長が最高責任者で、許可権者である。

町長は、支障のない範囲内だからいいという言い方でしたが、第6条の開館時間では、「福祉センターの開館時間は、午前9時30分

から午後4時までとする」と指定されている。あなたが使っているのは午後6時からと全部夜である。平成21年2月2日、金子正一後援会新年会。9月28日、支部長会議。平成22年2月5日、後援会女性部新年会。2月6日、後援会男性部新年会。元町長等が行っていたときは、民間を借りて、公共施設はほとんど使わなかった。お茶を出して町政報告会を行ったが、飲み食いはしていない。町長の後援会から県の選挙管理委員会に収支報告が出ている。平成21年2月2日、支出が78万3564円。9月28日の支部長会議、59万935円。平成22年2月5日の女性部新年会、56万3880円。2月6日の男性部新年会、57万1420円。9月3日の町政報告会、支部男性会議、63万7210円。9月4日の町政報告会、支部女性会議、55万35円。その後は、平成23年2月4日と5日に新年会を2日間行っている。12月1日に個人演説会。4月20日と21日

には、町政報告会と、年に4回ずつ後援会で使っている。町長が最高責任者で、許可権者である。後援会が県選管に届けてある部分で見ると、自分の後援会が福祉施設でそういうもてなしをすることが良いのかどうか。そこで飲み食いさせることは、公共施設の立場、観点からすれば、権利を逸脱した使用方法と思う。最高責任者であるから、改めてもらいたい。

**町長** 公共施設での後援会活動は、役員の判断もあった。許可権者が町長ということ、私の後援会会長にも、こういう意見が議会でもあり、後援会活動について慎重に行っていたかどうかに私から申し上げたい。

**その他の一般質問**  
・入札について  
・鶉土地区画整理について  
・がれき受入れ中止について

### 後援会活動について 慎重に行っていく

## 再生可能エネルギーに 対する町の方針

**塩井早苗議員** 政府が安全

と言いつつ続いていた原発がこんなにも安全でないということを知った。広島、長崎の原爆の被害を受けて、多くの方々が放射能被害を受けている国であるにもかかわらず、原発は安

全であると言いつつ続けた政府には重い責任がある。福島

第一原発の事故は、水素爆発で放射能をまき散らし、メルトダウン、メルトスルーを起こし、原子炉の下はどのような状態であるかわかっていない。地下水



役場庁舎の太陽光パネル

から現在も放射能漏れがあると危惧する。今後30年以上、または何十年かかるかわからない、人が住めない土地ができてしまった。除染もままならない状態で、放射能に汚染された土や水の保管場所がない。更に日本は地震国である。数々の活断層が発見され、原発の直下を通っているものもある。私は活動として、原発ゼロを目指している。再生可能エネルギーに対する町の状況についてと太陽光パネルの設置に対する町の補助は。

**生活環境課長** 邑楽町住宅用太陽光発電システム設置整備事業費補助金交付要綱に基づき、平成22年度から設置者に対し補助金を交付

している。約7割の新築住宅がシステムを設置している。平成24年度では、8月末現在で53件の申請があり、昨年同月比177%と増加している。群馬県の普及率3.9%。邑楽町では、3%から3.5%である。今後ますます増えてくると予想している。

**塩井早苗議員** 今後、小学校、中学校、幼稚園の屋根等、その他の公共施設の屋根にソーラーパネルを上げる計画は。

**生活環境課長** 公共施設については担当する課長と相談したい。

**町長** 今、中野小学校の体育館でOMソーラーシステムによる床暖房を行っている。役場庁舎でも一部太陽光発電を利用している。

**塩井早苗議員** 鞍掛工業団地の2区画残っている部分にソーラー発電の計画があるかないか。

**町長** その2区画は、町所でないため、それらを利用するのは不可能である。

板倉町では、県の企業局がメガソーラーを設置、榛東村では民間の企業、太田市では、市の所有地に設置している。

**塩井早苗議員** 発電と同時

に節電をやつていかなくはならない。さんさんと降り注ぐ太陽光を利用した発電を強力に推し進めることで、私たちの生活は原発に依存しない生活に変わるものと私は確信している。

町当局ではどの程度取り組む意欲があるか。

太陽光発電を進めていきたい

**町長** 町の補助は毎時1割あたり2万円の補助であるが、補助金の額に対しても検討を加える必要がある。負荷がかからず、永久に利用できるであろう太陽光発電を進めていきたい。

## 農業の施策について

**岩崎律夫議員** 町における農業の現状と課題を私なりに挙げてみた。1つには、高齢化が進んでいる。2つ目には、担い手がいらない。3つ目には、収益面で厳しい。4つ目には、町の農業の柱となるような新しい種がない。これからの課題も含めて、町長の認識を聞きたい。

**町長** 町の面積31・12平方メートルのうち約半分、53%が農

地である。今、町には認定農業者の方や農業を中核として頑張っている方がいる。こういった方々を中心にして、振興を図っていくというところが課題解決に少しでも役立つと思う。当面の課題としては、大きな問題がある。

**岩崎律夫議員** この町の農業を守って持続可能なものにするために、どうい



町民農園による農地の有効利用

**岩崎律夫議員** 道の駅構想

**岩崎律夫議員** 農業と食の問題、食育に関して、給食センターでの地元産の食材、野菜の活用状況は。  
**学校教育課長** 地元産の野菜の数量は、平成22年度13品目2955詰、平成23年度17品目4547詰を使用している。

**岩崎律夫議員** 道の駅構想

**大野貞夫議員** 旧南保育園の取り壊しに伴い、児童保育所「くらかけ広場」が立ち退く事態になった。現状と明け渡し後の対応については。  
**町長** 今年の5月下旬、12月までに移転をして欲しいと伝えた。くらかけ広場からは「児童保育に必要な建物を自分で考えていきたい、それについて町で支援していただけないか」と話があった。町としても応援

**大野貞夫議員** 今回の町の対応は、対策が全くできて

をするものについては異議がない。まず「くらかけ広場」については、特定非営利法人、NPOの資格を取ることが得策ではないか。ただ、12月までに明け渡しということ、大変無理な話も出たようだ。これから連絡を密にし、解決ができるよう、話し合いをした状況である。

## 旧南保育園解体の件について

策をとろうとしているのか。  
**町長** 町内には4つの集落営農組織、2つの法人の組織がある。この集落営農組織の皆さん方に、法人化に向けての努力をしていただき。法人化をいかに育成していくかが、これからの大きな方向転換、鍵になると思っている。農地の集積、流動化を図って規模拡大を

していく。  
**岩崎律夫議員** 集落営農組織を町内全地域に推進していくという理解でよいか。  
**町長** 今、一カ所が法人化に向けて研究している。一つ一つ法人化することでメリットが理解されていく。  
**岩崎律夫議員** 担い手の問

題について打つ手や考えは。  
**町長** 後継者の確保、新規参入をされる方を、町として一層推進していく。  
**岩崎律夫議員** 現在、町民農園が6反(60ア)あるが、拡大を検討していただきたい。  
**町長** JAで管理をしている。物づくりの楽しみを考え、土地利用の推進が図られると思う。努力をしたい。

に向けて検討の進捗状況は。  
**企画課長** 道の駅の推進に当たっては、施設整備の準備作業に加え、生産者との協力、直売所、加工所、レストランなどの附属施設の充実に向けた調査研究も行っていく必要がある。

い。農業者も町民も見てい。  
**町長** まさに基幹産業の一つであり、この町の農業振興、食ということについて真剣に取り組んでいきたい。

農業振興に  
真剣に取り組む

いないと思う。順序が逆ではないか。次の行くところが決まっていないのに、そこを使うから出ていって欲しいということだ。ここで、学童保育について、どのように認識されているのか。

**町長** 町では、児童館が4館ある。遊び場を提供した中で健全な育成を図っていくということになっていく。学童保育についても同じような考え方ができると思う。

**大野貞夫議員** 全然違う。学童保育と児童館の役割はおのずから違うのである。隣の館林市の場合は、学区ごとに学童保育が計16カ所ある。公設民営は11カ所。邑楽町と比較して極端に違う。なぜなのか。一番のもとなつてきているのは、児童福祉法という法律である。1998年4月より、学童保育は児童福祉法と社会福祉法に基づく事業になつた。法律で国や地方公共団体は、その実施に努めなければならぬ。これに基づいて、館林市はどんどん進

めていったという経緯がある。それに比較すると、邑楽町は非常に遅れている。これを見てどう思うか。

**町長** 大変勉強不足で申し訳ない。等しく子ども達と同じような環境の中で、保育、育成されなければならぬので、十分勉強した中で対応していきたい。

**大野貞夫議員** これから研究、勉強してというのではなく、やらなくてはならない。今「学童保育」をつくるに当たって、1カ所の単価が2140万円。うち国と県が3分の2、町が3分の1で、700万円できらる。従来の財政調整基金からすれば、現在相当増えている。町で初めての公設の学童保育ができる可能性があるが、どう思うか。

意見を伺う中で  
進める

**町長** 時間的な制約はあるが、よい学童保育ができれば、お互いにそれにこした

ことはないので、役員と連絡をし、意見を伺う中で進めていければと思う。



解体予定の旧南保育園

今後の町経済と  
行財政改革について

**小島幸典議員** 平成26年4月より、消費税8%の増税が決まった。国の借金は約1000兆円。平成21年度、

群馬県の借金は約1兆3000億円で、邑楽町では約91億円であった。そういう中で、財政調整基金は約18億円ある。今、日本の有名企業が大変ピンチの中、精査検討しなければ、夕張市みたいになってしまう。箱物はランニングコストがかかる。町長は15、16億円をかけ、中央公民館をつくると議会に提案したが、邑楽町公民館の年間人件費と費用は。

**生涯学習課長** 平成23年度の人件費は、給料、職員手当等、共済費、共済組合等の負担金を合せて約1654万9000円であり、維持管理費は、約1662万6000円である。

**小島幸典議員** 邑楽町公民館の経費合計が約3317万5000円。国、県、町に借金があり、大企業が赤字決算の中、町長は町の財政調整基金約18億円の中から、15、16億円使うと言っている人も含めて、仮に人口3万人とすると、1人5万円の血税だ。町の借金は、約91億円ある。1人頭で計算すると大変な借金だ。町の不納欠損と滞納額は。

**町長**

一般会計での平成23年度の地方債残高は、62億3000万円、そのほか上下水道事業、特別会計事業があり、約91億円は連結した数字である。町の財政

状況は比較の問題で、全国に同じような類似団体は41団体あるが、邑楽町の財政状況は大変良好な位置にある。実質公債比率も昨年は

5・8%だったが、今年も5・0%である。中央公民館の施設整備を全て財政調

整基金から取り崩すのかとの話であるが、ほかの施設整備も財政調整基金や公共施設整備基金からの取り崩しもある。

**小島幸典議員**

ある議員の中野小学校プールの建設資金についての質問に、約1億何千万円と言っていた。

15、16億円と計画して優先順位を決めるならば、とんでもない間違いだ。ママさんバレー大会のときに、熱中症で倒れた人が厚生病院に運ばれたら、医者がいな

を出して、医者をお金で育てる教育が大事だ。今、中央公民館がないから非常に不自由しているという話は来ているのか。教育長に聞きたい。

**教育長** 合唱コンクールのときに一堂に会して、音が響くような会場が欲しいという要望が来ている。

**小島幸典議員** 医者を育てる奨学金で、お金は回転する。箱物では回転しない。

**小島幸典議員** 群馬県の東毛、鶴の頭の部分に位置する邑楽町がどのようにあるべきか。日本を南北に縦貫する東北自動車道、そして道を曲げながらも館林市を通じた県内唯一の館林インターチェンジ、それに接続する国道354号線東毛広域幹線道路につき、どのよ

**効率的に利用する**

**町長**

お金を回転させることについては、私も同感である。住民サービスに予算を効率的に利用することは、町行政を預かる者としての仕事である。

**その他の一般質問**

- ・ 町民の生活環境整備について
- ・ 国保税と介護、後期高齢者保険の低減化を

**東毛に位置する町の行政事業執行について**

**小沢泰治議員**

群馬県の東毛、鶴の頭の部分に位置する邑楽町がどのようにあるべきか。日本を南北に縦貫する東北自動車道、そして道を曲げながらも館林市を通じた県内唯一の館林インターチェンジ、それに接続する国道354号線東毛広域幹線道路につき、どのよ

うな経緯でできたか、現在どうであるか聞きたい。

**都市建設課長**

東北高速自動車道は、国内最長の高速自動車道で、昭和47年11月開通、供用開始となっている。東毛広域幹線道路は、

県央と東毛の各都市の連携を図るための重要な路線であり、地域の発展に果たす

役目は極めて大きい。平成26年度に全線開通と国道122号線への整備接続に向けて県が推進している。

**小沢泰治議員**

邑楽町において、すばらしい動脈ができた。これが貫通すると終点の高崎市はもちろん、北関東自動車道への接続も約15分で、非常に洋々たるものがある。ぜひとも邑楽町が活性化するように事業を展開していただきたい。そんな中で、邑楽町の状況を見ると、出生と死亡の自然減があるが、社会減については、阻止できるのではないか。町長の現在の短長期の考えを聞きたい。

**町長**

町の土地利用についても、いろいろこれから十分考えていかないと、人口減の歯止めは、中々からかないし、増を見込むのも難しいと思う。これから十分認識した中で、施策づくりをしていきたい。

**小沢泰治議員**

町長と同年の方が邑楽町に372人。ゼロ歳児は168人で44%

しかない。今37歳の方だと、ゼロ歳児は27・5%しかない。町長の16億円かけて事業を実行する中央公民館は、先を考えたら、邑楽町単独でする事業ではないと断言する。私は、東毛広域圏のあらゆる施設を相互利用して、文化、教養等満たしてあげる、そのような施策を打っていただきたい。16億円で介護、医療、子育て、教育、また、夢の持てる町民のためになる施策が幅広くつくれると思うが。

**町長** 十分検討した中で、町の身の丈に合った施設整備ということ、検討委員会の人選も決まった。十分議論いただいで、誤りのないよう進めたい。

**小沢泰治議員** 公民館建設検討委員会の皆さんには、各行政区の班長にお願いして、あそこの家はこうだからと誰かにわかるようなものではなく、秘密が守られる状態で邑楽町、東毛の実情など、大きな事業になるので、アンケートを必ずと

る。大きな心を持って事業

# 議会の動き

## 8月

- 19日 おうら祭り
- 20日 大泉町外二町環境衛生施設組合執行部議会合同協議会
- 23日 戦没者追悼式
- 24日 邑楽郡町村議会議長会臨時会  
邑楽館林医療事務組合臨時会
- 27日 議会運営委員会
- 28日 総務教育常任委員会、産業福祉常任委員会
- 29日 全員協議会

## 9月

- 9月7日～19日 9月定例会  
(本会議、議会運営委員会、各常任委員会、全員協議会、広報委員会)
- 12日 都市計画審議会
- 24日 大泉町外二町環境衛生施設組合議会

## 10月

- 4日 議会広報委員会編集会議
- 7日 町民体育祭
- 9日 太田市外三町広域清掃組合議会
- 16日 邑楽館林医療事務組合議会、館林地区消防組合議会
- 17日 議会広報委員会校正会議
- 24日 群馬県町村議会議長会議員研修会
- 30日～11月1日  
総務教育常任委員会視察研修

### 議会を傍聴しましょう

次の議会は、12月10日から14日を予定しています。

住所・名前・年齢を受付簿に書くだけでも傍聴できます。

役場庁舎1階ロビーのテレビにおいても、本会議の様態を中継していますので、お気軽にご覧ください。

議会の会議録(議事等の経過をそのまま記録したものは、図書館、邑楽町公民館、産業研修会館(長柄公民館)、勤労青少年ホーム(ヤングプラザ)に置いてあります。また、ホームページにも会議録全文を掲載していますので、ご覧ください。

URL <http://www.town.ora.gunma.jp/chosei/gikai>

詳しくは、議会事務局まで  
☎88-5511 (内線300)

執行をしていただきたい。

検討委員会の  
中で議論

町長 社会教育に携わっている方々の意見も聞き、私は問題をオープンにして、検討委員会の中で議論し、アンケートについては、担当がいろいろ調整した中で協議していただく。

### 議会に請願したいとき

請願は、町民の皆さんの要望を反映させるひとつです。

提出してください。この場合、その趣旨に賛意を表す議員の署名または記名押印を受けてください。

議会へ請願するときは

請願者の住所、氏名(法人はその名称・代表者名)

議会では

所定の様式と内容を整理

及び請願の趣旨を記載し、押印した文書を議長あてに

提出された請願書を受取り、関係委員会に付託して、

請願様式例

請願内容が妥当かどうか審査を行い、本会議において、採択、不採択を決定します。

〇〇〇〇に関する請願書

紹介議員〇〇〇〇〇〇

〇〇〇〇に関する請願書  
(要旨).....

平成 年 月 日

住所 〇〇〇〇〇〇  
氏名 〇〇〇〇〇〇  
邑楽町議会議長 様

# わたしのふるさと

## 【鹿児島県曾於市】

徳永正登  
(秋妻・17区)



桜島溶岩なぎさ公園

私のふるさは、鹿児島県<sup>そお</sup>曾於市です。大隅半島の北側で、宮崎県寄りに位置し、黒毛和牛や黒豚など畜産が盛んな地域です。

畑にはご存知サツマイモがいっぱい栽培され、のどかな風景でした。鹿児島ではサツマイモをカライモと呼ぶのですよ。何故なら、唐の国から伝わった「唐芋」、関東では薩摩の国から伝わったから「薩摩芋」。

私が育った曾於市末吉町は、東へ出向けば宮崎県日南海岸、西へは霧島や桜島、鹿児島市に日帰りが可能です。南九州は見所いっぱい、以前は新婚旅行のメッカでした。日南海岸の青島、鶴戸神宮・鬼の洗濯岩など海が綺麗で、何とも言えない風景です。

一方、鹿児島方面はやはり桜島。家からも遠くに噴煙のあがる桜島がよく見え、ドーンの音に表へ飛び出して見たものです。私は、鹿児島の城山や磯公園から見た桜島が好きです。

もうひとつ紹介するならば、ちょっと足を延ばして指宿温泉。天然の砂風呂で有名な指宿温泉で、心を癒してあげるのも良いものです。思い出したら、帰りたくなりました。チャンスがあれば皆様も如何ですか、南九州。

### 編集後記

例年にならない酷暑の影響もあってか、出無精となり、ロンドンオリンピック、ク競技に感動し、

甲子園球児の息詰まる白熱戦に手に汗を握るほど熱中し、もっぱらテレビ観戦の日々を過ごしております。

さて、町議会におきましては、残暑きびしい中、去る9月7日から19日までの会期で開かれ、町の現状や将来をにらんで、熱心に質疑・提案が交わされました。「安全で安心して暮らせる町づくり」を目指して、議会だよりをとおして、町民の皆様と議会をつなぐパイプ役となれるよう努めていく所存です。より一層のご愛読をお願いいたします。

先日、中野小の運動会を観戦させていただき、躍動感あふれる子ども達が、一生懸命走っている姿に拍手です。良き事のない昨今、遠い昔を懐かしみ、とても癒されて帰宅した次第です。スポーツの秋です。参加して良い汗を流しましょう。

(半田記)